

ユーザーズマニュアル

03-VNVE-1J-A 030124

登録エディタソフト

ボイスナビ エディタ

VoiceNavi Editor 1J

(VoiceMaker3 5J)

WAV シリーズ用 WRX シリーズ用

ダウンロード版とCD-ROM版	
<p>ダウンロード版とCD-ROM版のソフトは同一ソフトです。 【KEY CODE 入力】 CD-ROM版の場合でも「ユーザー登録」し、KEY CODEの配布を受けて下さい。</p>	
<p>ダウンロード版 (圧縮ファイル) 弊社ホームページからダウンロード、解凍し、インストールして下さい CD-ROM版 下記のソフト、音源ライブラリを収納しています。</p>	
ソフト	登録エディタソフト VoiceNavi Editor シミュレータソフト VoiceNavi Editor 実機再生テスト用ソフト VoiceNavi Tester
サンプル カードデータ	sample02 音質評価用 男女 sample01 数字 01 ~ 255
サンプル データ	ファイルコンバート評価用 ステレオデータ 44.1KHz 16Bit ステレオ
ライブラリCD	LCD-A01/02/03
KEY CODE と機能制限	
<p>ダウンロード版 CD-ROM版は共に、出荷時は「機能限定版」になっております。 KEY CODE を入力することにより、「フル機能版」になります。 KEY CODE は弊社ホームページ www.voicenavi.co.jp/サポート ユーザー登録後、E-mail 送付します。 または FAX 026-268-3950 でお申込下さい。</p>	
<p>【機能制限】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・WAVE ファイル登録画面で合計 32MB 以上の WAVE ファイルは登録できません。 ・ファイルコンバート機能が使用できません。 	
<p>【KEY CODE 配布条件】 ホームページでのユーザー登録 購入製品名(型式)、シリアルNo.</p>	

VoiceNavi 三共電子株式会社

〒381-3203 長野県上水内郡中条村中条 38

TEL 026-268-3950 FAX 026-268-3105

E-mail: info@voicenavi.co.jp

URL <http://www.voicenavi.co.jp>

目次

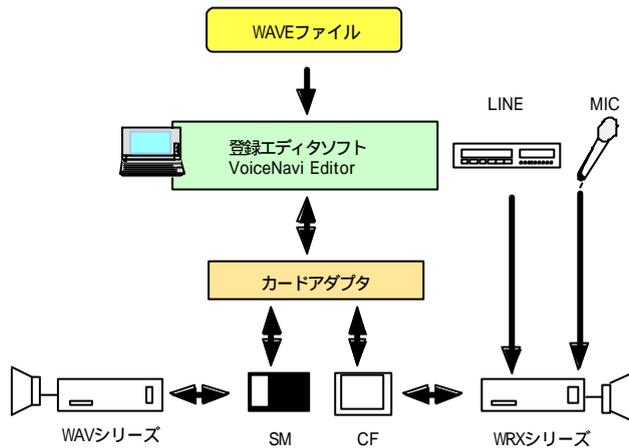
1.	概要	3
2.	特長	4
3.	動作環境	5
4.	適用 Flash カード	5
5.	適用 WAVE ファイル	5
6.	ソフトウェアの入手	6
7.	インストール	6
8.	ソフトの初回起動（使用許諾契約書の同意とユーザー情報登録）	8
9.	オンラインユーザー登録とKEY CODE 配布（フル機能版として使用する場合）	9
10.	KEY CODE 入力	9
11.	操作手順	10
12.	カード作成前の準備（WAVE ファイルの用意・フォルダ設定・モード設定）	11
13.	WAVEファイルの登録	12
14.	アドレス・プログラム登録	14
15.	カードデータ作成	16
16.	レポート作成	17
17.	カードデータをFlash カードへコピー	18
18.	コンバート機能	19
19.	コンバート WAVE ファイル 16Bit データ = >8Bit データ	20
20.	コンバート ステレオ =>モノラル	22
21.	コンバート無音データの作成	23
22.	メッセージの追加・変更	23
23.	メッセージだけの変更	24
24.	アドレスの変更・プログラム登録の変更	24

1.概要



本ソフトは、Windows パソコン上で試聴しながら、WAV(ウェーブ)・WRX (ダブルアールエックス)シリーズ上で使用できるカードデータファイルを作成するソフトです。

WAV・WRX シリーズのアドレス (接点端子)に再生したいWAVE ファイルの登録し、その際1 アドレス (接点端子)に最大 8WAVE ファイルの組立再生、最大 5 回までのリピート回数などのプログラム登録ができます。作成したカードデータはカードアダプタ経由でFlash カードにコピーして使用します。



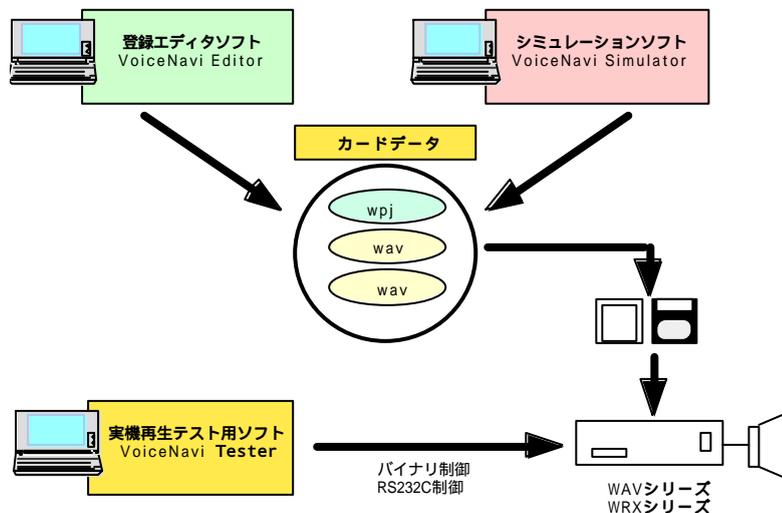
シミュレーションソフト VoiceNavi Editor で、Windows パソコン上で押しボタン操作による接点制御、アドレス入力によるバイナリ制御 RS232C 制御の再生制御シミュレーションできます。

また実機再生テスト用ソフト VoiceNavi Tester で Windows パソコンと接続して、バイナリ制御 RS232C 制御で WAV・WRX シリーズの実機を再生テストできます。

【シミュレーションソフト VoiceNavi Simulator と実機再生テスト用ソフト VoiceNavi Tester】



Windows パソコン上でカードデータ作成、再生制御シミュレーションができます。また、実機再生テスト用ソフトも提供しています。



【無償ダウンロード】
ダウンロードしてご使用できます。

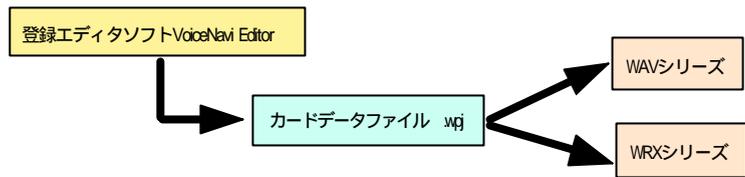
- 登録エディタソフト
VoiceNavi Editor
- シミュレーションソフト
VoiceNavi Simulator
- 実機再生テスト用ソフト
VoiceNavi Tester

【CD-ROM 版】
登録エディタソフト VoiceNavi Editor のCD-ROM に上記のソフトを収録しています。

2.特長

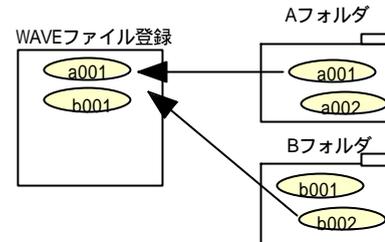
WAV/WRX シリーズ対応

WAV シリーズ用 WRX シリーズ用のカードデータを作成できます。



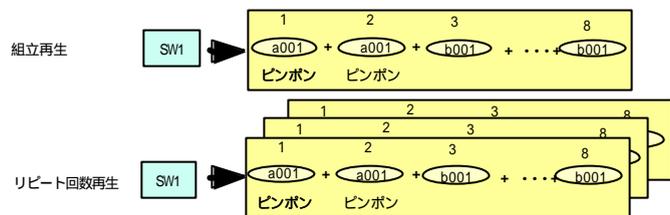
複数 WAVE ファイル収納フォルダ切替対応

複数の WAVE ファイル収納フォルダを切り替えて、WAVE ファイル登録できます。



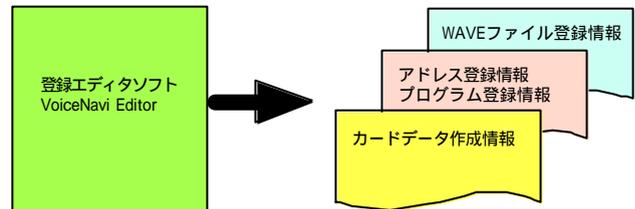
プログラム登録

1 アドレス(接点端子)に最大 8 ファイルの組立再生、5 回までのリピート回数を登録できます。



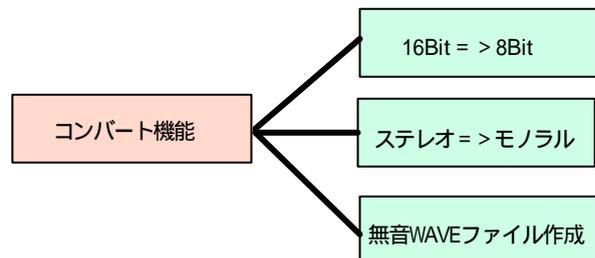
レポート作成機能

WAVE ファイル登録情報・プログラム再生登録情報等印刷出力できます。



ファイルコンバート機能

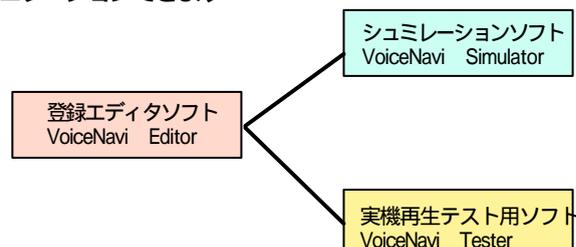
フォルダ単位でステレオ=>モノラル 16Bit => 8Bit のファイルコンバートや時間指定で無音の WAVE ファイルを作成できます。



シミュレータソフト VoiceNavi Simulator で再生制御シミュレーションできます

シミュレータソフト VoiceNavi Simulator は登録エディタ VoiceNavi Editor で作成したカードデータを直接

アクセスして、接点制御 バイナリ制御 RS232C 制御の再生制御を試験、シミュレーションできます。



3.動作環境

パソコン	下記 OS 搭載に Windows マシン Windows98/Me/2000/XP
メモリ	64MB 以上
ハードディスク	256MB 以上の空き容量 (別途、WAVE ファイル用の空き容量は必要)
適用カードアダプタ	PC カードタイプまたは USB 接続タイプ WAV シリーズ 「スマートメディア用」 WRX シリーズ「コンパクトフラッシュ用」 (注) スマートメディア&コンパクトフラッシュ兼用タイプを推奨

4.適用 Flash カード

再生装置	WAV シリーズ	WRX シリーズ
カードタイプ・容量	「スマートメディア」 8MB/16MB/32MB/ 64MB/128MB (注) 64/128MB 対応していない機種有り。	「コンパクトフラッシュ」 32MB /64MB/128MB/256MB (注) メーカー・型式指定有 ホームページ参照
カードフォーマット	DOS フォーマット Windows95/98/Me Windows2000/XP(注)対応していない機種有り デジタルカメラのフォーマットは不可	DOS フォーマット Windows95/98/Me/2000/XP デジタルカメラのフォーマットは不可

5.適用 WAVE ファイル

WindowsOS の標準サウンドファイル WAVE(ウェーブまたはワブファイルを使用できます。

【適用ファイル形式】

8.3 形式 (アルファベット英数字8文字表示) 【例】1234568.wav aaaaa123.wav
(注) ロングネームのファイル名はご使用できません。-, (), { }などが入ったファイル名は使用できません。

【ファイル容量制限】

WAV シリーズ	16MB 未満
WRX シリーズ	64MB 未満

【推奨サンプリングモード】

ステレオデータは使用できません。
WAV シリーズでは8Bit データは使用できません。

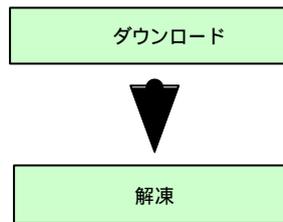
WAV シリーズ	44.1KHz 8Bit Mono 22.05KHz 8Bit Mono 11.025KHz 8Bit Mono	PA システム音源 案内 & 注意放送 操作ガイド
WRX シリーズ	44.1KHz 16Bit Mono 22.05KHz 16Bit Mono	PA システム音源 効果音・擬音 PA システム音源 案内 & 注意放送 操作ガイド
	44.1KHz 8Bit Mono 22.05KHz 8Bit Mono	PA システム音源 案内 & 注意放送 操作ガイド

(注) WAV シリーズは32/16/12.8/8KHz 8Bit Mono も対応している機種があります。

【その他】

使用できない WAVE ファイルも有ります。(注) に出所不明な WAVE ファイル)
WindowsOS 付属の「サウンドレコーダ」で読み込み、保存すると使用できる場合があります。

6. ソフトウェアの入手



当社のホームページ <http://www.voicenavi.co.jp>からダウンロードします。

フル機能版として使用する場合、KEY CODE が必要ですので、オンラインユーザー登録して KEY CODE を事前に配布を受けることを勧めます。

< 参照 > 9. オンラインユーザー登録とKEY CODE 配布

ホームページ
(圧縮ファイル)



下記のホームページからダウンロードし、解凍して下さい。

フリー・シェアウェアまたは市販の解凍ソフトで解凍して下さい。

CD-ROM



インターネット環境がない場合は CD-ROM 版をご購入下さい。

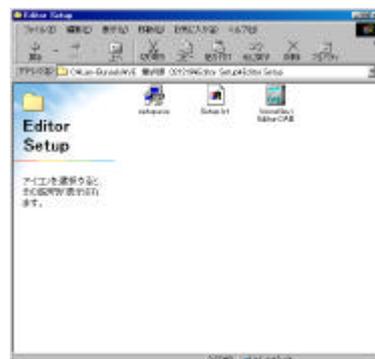
パック版 (CD-ROM + カードアダプタ) も用意しています。

7. インストール



ダウンロードした場合、解凍後、下記の手順でインストールします。
インストール後、

インストール



パソコン上の他のプログラム を全て、終了します。

「Setup」プログラムをクリックしてください。



左記の画面が表示されます。

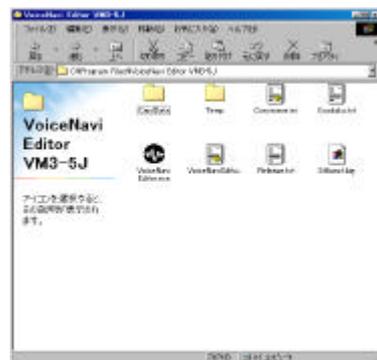


ディレクトリを変更する場合は、ディレクトリ変更ボタンで変更してインストールして下さい。



!Program Files\VoiceNavi Editor VM-5JJ\内に左記のインストールします。
また | スタート | プログラム | メニュー内にアイコンを作成します。

VoiceNavi Editor.exe- ソフト
CardData フォルダ
カードデータファイル収納先
Temp フォルダ
一時データ保存場所

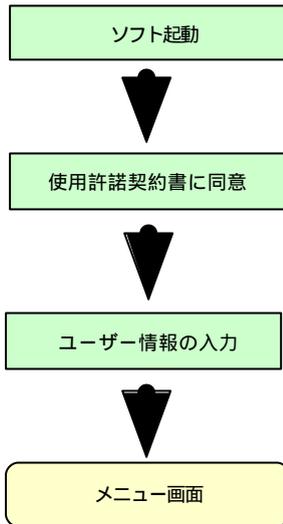


旧バージョンをインストール済みの場合	Version4 をインストールしても、上書きしません。 Program Files内に新しいフォルダを作成して、インストールします。 設定 フォルダ・モード で旧バージョン内のCardData内のカードデータを設定して、カードデータファイルの読み込み、WAVE ファイルの新規登録に使用できます。
旧バージョンをアンインストールしたい場合	アンインストール前に Program Files ¥ VM 3内の CardDataを Program Files ¥ VoiceNavi Editor 4J に移動するか、他に場所にバックアップして下さい。
旧バージョンとの互換性	VoiceMaker3 Verion3 version4 はそのままご使用できます。 Vesion1 version2 はそのままでは使用できません。 ファイル読み込んだ場合、WAVE ファイル登録画面には表示ので、必ず、アドレス・プログラム登録画面でアドレス (接点端子)登録し、カードデータ作成を行って下さい。

アンインストール

| スタート | 設定 | コントロールパネル | アプリケーションプログラムの追加・削除 | 本ソフトを指定し、削除して下さい。
(注)CardData などはバックアップ後、別に削除して下さい。

8. ソフトの初回起動（使用許諾契約書の同意とユーザー情報登録）

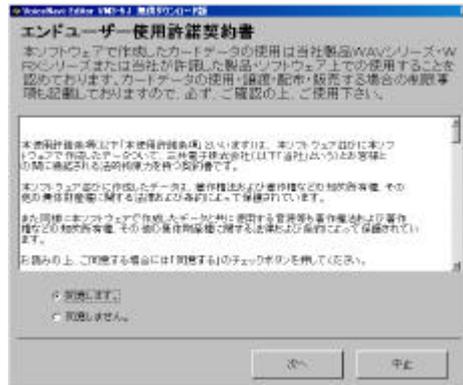


初回の起動時に、「使用許諾契約書の同意」、「ユーザー情報設定」の画面が表示されます。

(注)
ユーザー情報設定での登録事項は著作権保護のために、本ソフトで作成したカードデータファイル.wpj 内にその都度、記録されます。

この段階では機能限定版
KEY CODE入力でフル機能版

使用許諾契約

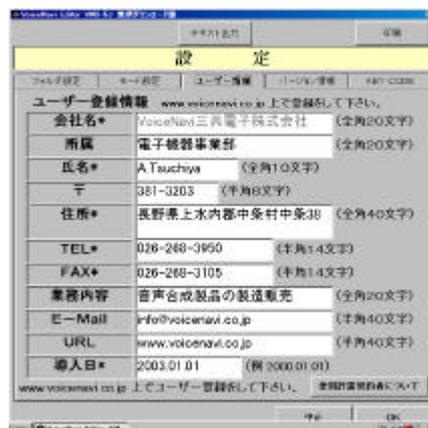


スタート | プログラム | VoiceNavi Editor VM-5J をダブルクリックします。またはショートカットアイコンをご使用下さい。

VoiceNavi Editor 並びに作成したカードデータは使用許諾契約書の適用を受けます。

(注)
必ず、お読みください。なお同意しないと VoiceNavi Editor はご使用できません。

ユーザー登録情報



ユーザー情報登録画面が表示されます。
入力項目を正しくご記入ください。

(注)
本登録事項は著作権保護のために、本ソフトで作成したカードデータファイル.wpj に記録されます。

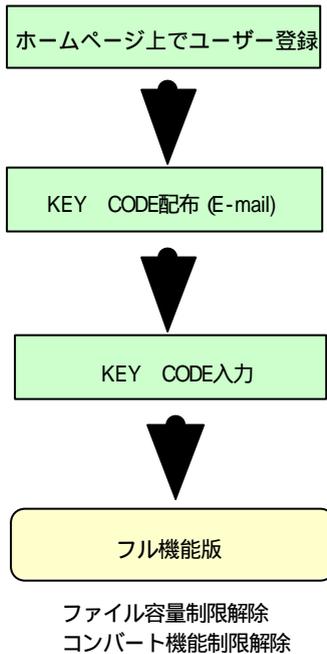
終了ボタン ON で下記のメニュー画面を表示します。

メニュー画面



スタート | プログラム | VoiceNavi Editor
または | Program files | VM3 | VoiceNavi Editor をクリックします。
左記のメニュー画面が起動します。

9. オンラインユーザー登録とKEY CODE 配布 (フル機能版として使用する場合)



KEY CODE 入力しないとフル機能で使用できません。
オンラインユーザー登録後、E-mail でKEY CODE を送付します。
平日の場合 当日または翌日
土日祝日の場合 月曜日

【インターネット環境のない場合】
FAX 026-268-3105 で登録して下さい。
(記載事項)
製品型式 VoiceNavi Editor 機能限定版
会社名、氏名、住所、TEL
購入製品名(型式)、シリアルNo.

KEY CODE 希望の場合



弊社ホームページ
www.voicenavi.co.jp/ サポート | ユーザー登録で設定 | KEY CODE | のユーザー登録を行って下さい。

【KEY CODE 配布条件】
ホームページでのユーザー登録
購入製品名(型式)、シリアルNo.

10. KEY CODE 入力

KEY CODE 入力



| 設定 | KEY CODE | で KEY CODE を入力します。

入力しますと先の画面になります。
フル機能版(正規版)としてご使用できます。

KEY CODE と機能制限

ダウンロード版 CD-ROM 版は共に、出荷時は「機能限定版」になっております。

KEY CODE を入力することより、「フル機能版」になります。

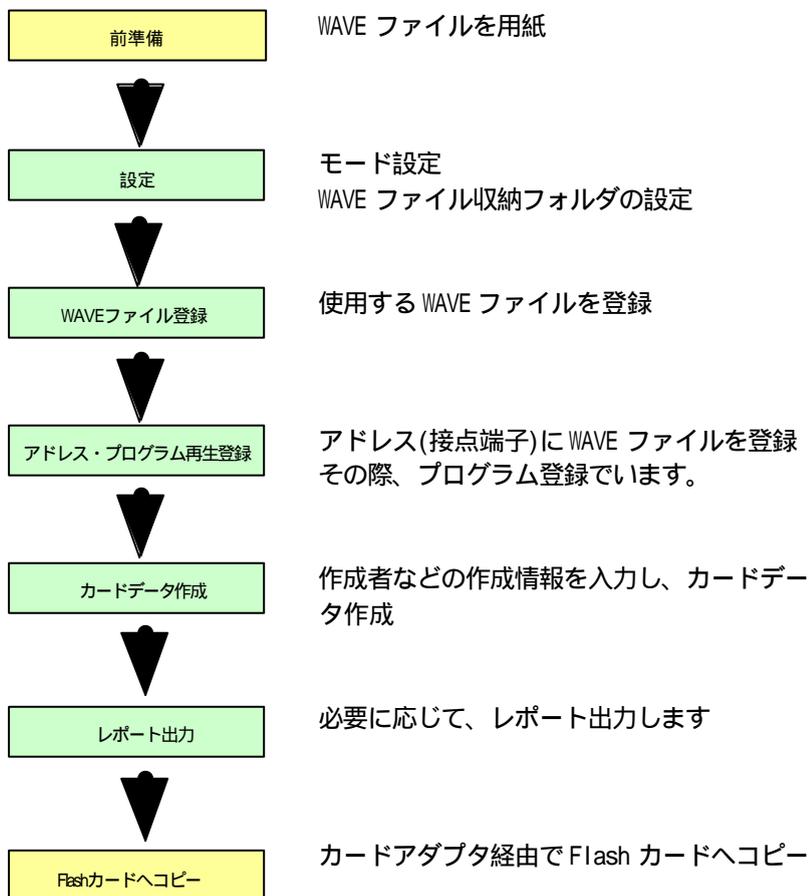
KEY CODE は弊社ホームページ www.voicenavi.co.jp|サポート| ユーザー登録後、E-mail 送付します。
または FAX 026-268-3950 でお申込下さい。

【機能制限】

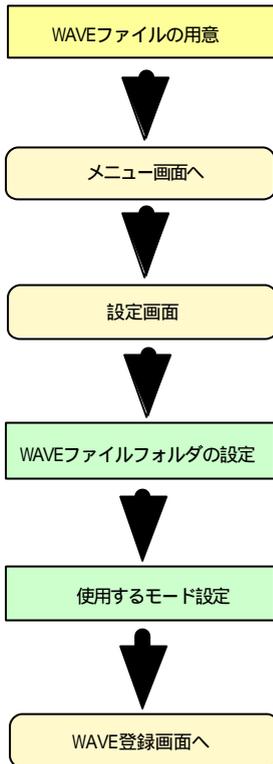
- ・WAVE ファイル登録画面で合計32MB以上のWAVE ファイルは登録できません。
- ・ファイルコンバート機能が使用できません。

【KEY CODE 配布条件】

ホームページでのユーザー登録
購入製品名(型式)、シリアルNo.

11. 操作手順

12. カード作成前の準備 (WAVE ファイルの用意・フォルダ設定・モード設定)



WAVE ファイルをご用意下さい。

用意した WAVE ファイルをフォルダの収納して下さい。

【6Bit データの場合】WAV シリーズでは使用できません。
 <参照> 19. コンバート機能で8Bit データにコンバートして下さい。

【ステレオデータの場合】WAV/WRX シリーズでは使用できません。
 <参照> 19. コンバート機能で8Bit データにコンバートして下さい。

【ファイル名の確認】

8.3 形式 アルファベット英数字のファイル名
 (注) - () { } など不可

WAVE ファイルの用意

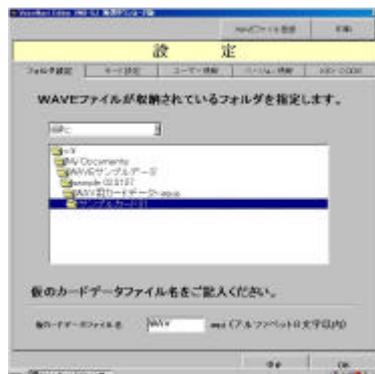


事前に使用しそうな WAVE ファイルを1つ、または複数のフォルダにご用意下さい。

WAVE ファイルをフォルダに用意します。

Version4 では、複数の WAVE ファイルフォルダを切替え、設定できます。

フォルダの設定



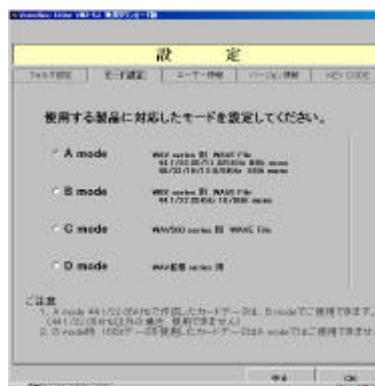
メニュー画面 | 設定 | の下記の画面で設定します。

(注)複数フォルダの場合、WAVE ファイル登録時、本設定画面でフォルダを設定を変更して、登録します。

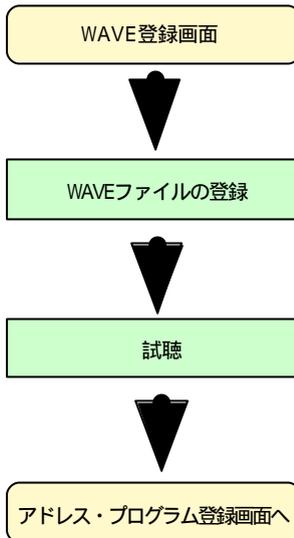
適当なカードデータファイル名を入力して下さい。
 (注)

8 文字以内 アルファベット英数字
 (例) test01

モード設定



13.WAVEファイルの登録



本画面で、使用するWAVE ファイルを登録します。

本画面で登録した WAVE ファイルはアドレス・プログラム再生登録で何回でもご使用できます。

【登録できる WAVE ファイル】

8.3形式 アルファベット英数字のファイル名

(注) - () { }なども不可

【登録可能WAVE ファイル数】255max.

【サンプリングモード】

モード	適用機種	サンプリングモード
Aモード	WAV シリーズ用	8Bit Mono 44.1/22/05/11.025KHz 48/32/16/12.8/8KHz
Bモード	WRX シリーズ用	16/8Bit Mono 44.1/22/05KHz
Cモード	WAV500 シリーズ用	特定ユーザー用
Dモード	機能拡張用	特定ユーザー用

【注意】

同一ファイルを重複して登録できません。

本画面では「空きNo」はできません

アドレスへの登録は「アドレス・プログラム登録画面」で登録します。



メニュー画面で「WAVE ファイル登録」をクリックします。



(注)同一ファイルを重複して、登録できません。

削除、移動ボタンで変更できます。



「WAVE ファイル登録ボタン」をクリックします。左記の選択画面を表示します。登録する WAVE ファイルを選択し、クリックします。選択した WAVE ファイルが WAVE ファイル登録画面に登録されます。



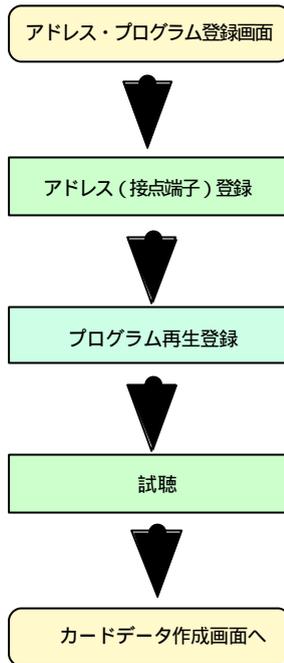
「PLAY」ボタンで個別ファイル毎に、「ALLPLAY」ボタンで全ファイルを試聴できます。



左記の数字を確認の上、WAVE ファイルを登録します。特に積算カード容量にはご注意ください。印刷ボタンで WAVE ファイル登録情報を印刷できます。

WAVE ファイルフォルダ設定	設定 フォルダモード に画面切替。 複数の WAVE ファイル収納フォルダを切替えて、そのフォルダ内の WAVE ファイルが登録できます。
WAVE ファイル登録	「WAVE ファイル登録ボタン」をクリックしますと、WAVE ファイル選択画面が表示されますので、登録したい WAVE ファイルをクリックして選択していきます。 (注)必ず、 メニュー 設定 で WAVE ファイルが収納されたフォルダを指定して下さい。
WAVE ファイルの移動・削除	移動する場合、上下の矢印をクリックします。 削除する場合は、削除ボタンをクリックします。
PLAY (試聴)	再生したい WAVE ファイルをクリックし、試聴ボタンをクリックします。
ALLPLAY(全再生)	このボタンをクリックすると No.1 から順番に再生します。
新規ファイル作成	新規に WAVE ファイル登録したい場合、本ボタンを使用します。
ファイル読み込み	前に作成したカードデータファイル .wpj または一時保存ファイル .wpg を読み込み、WAVE ファイルの変更・追加・削除ができます。
ファイル保存	ファイル保存すると一時ファイル .wpg として保存できます。 カードデータ作成しますと一時ファイル .wpg は自動削除されます。
印刷	画面表示されている登録情報を印刷できます。

14. アドレス・プログラム登録



本画面で、WAV シリーズ上に対応したアドレス (接点端子) 登録を行ないます。
必要に応じて、組立再生、リピート回数の設定を行ないます。
WAVE ファイル登録画面で登録した WAVE ファイルを何回でもご使用できます。

【登録可能アドレス数】 255max. 1~255 (01~FFH)
(注)機種によっては使用できないアドレスがあります。

【プログラム登録】

組立再生	1アドレス(接点端子)-8WAVEmax.
リピート回数	1アドレス(接点端子)-5回max.

(注)リピート回数始設定は、上記組立再生が有る場合、全体をリピートします

アドレス (接点端子) の登録



本画面の No. は、WAV シリーズのアドレス (接点端子) に対応しています。

登録する No. をマウスで指定し、WAVE ファイル選択画面から WAVE ファイルを選択・登録します。

アドレス・プログラム再生登録画面の No. をマウスで選択し、マウス右ボタンを押すとこの画面を表示します。

マウスの左ボタンで選択します。



印刷ボタンで本画面で登録したアドレス・プログラム再生登録情報を印刷できます。

「PLAY」ボタンで個別 No. 毎に
「ALLPLAY」ボタンで全 No. を試聴できま

試聴



す。

本再生は、プログラム再生登録内容も反映して再生します。

- 組立再生
- リピート回数再生

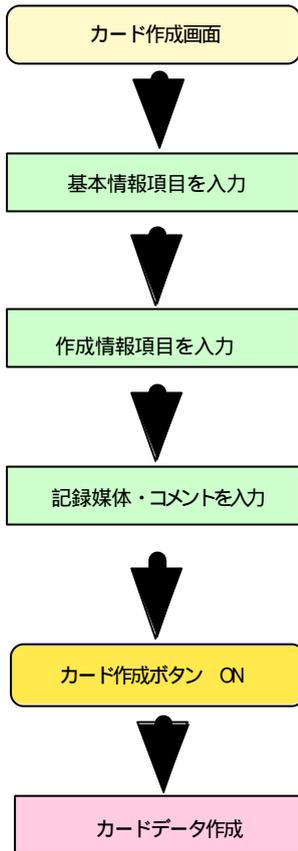
WAVE ファイル選択	登録したいNo.をクリックし、マウス右ボタンを押すと「WAVE ファイル選択画面」が表示されます。 左ボタンをクリックして選択していきます。
WAVE ファイルの移動	WAVE ファイルをマウスで指定し、上下左右の矢印をクリックします。
WAVE ファイルの削除	WAVE ファイルをマウスで指定し、削除ボタンをクリックします。
PLAY 試聴	再生したいNo.をクリックし、PLAY ボタンをクリックします。 再生中は、再生している WAVE ファイル内容を表示します。 (注) プログラム再生登録の通り、再生します。
ALLPLAY 全試聴	このボタンをクリックするとNo.1 から順番に再生します。 再生中は、再生している WAVE ファイル内容を表示します。 (注) プログラム再生登録の通り、再生します。
ファイル読み込み	前に作成したカードデータファイル .wpj または一時保存ファイル .wpg を読み込み、WAVE ファイルの変更・追加・削除ができます。
ファイル保存	ファイル保存すると一時ファイル .wpg として保存できます。 カードデータ作成しますと一時ファイル .wpg は自動削除されます。
印刷	画面表示されている登録情報を印刷できます。

画面表示と再生ボード・装置 WAV/WRX シリーズのアドレス・接点端子対応表

VoiceNavi Editor 上 アドレス登録画面表示	WAV/WRX シリーズ	
	アドレス	接点端子
1	01H	SW1
2	02H	SW2
3	03H	SW3
4	04H	SW4
5	05H	SW5
6	06H	SW6
7	07H	SW7
8	08H	SW8
:	(以降機種による)	(以降機種による)
:	:	:
254	FEH	FEH
255	FFH	FEH

テクニク	接点端子、アドレスの飛び飛びの割付	本画面で登録します。 (例)SW1 -A.wav SW2-無 SW3-無 SW4 - B.wav
	WAVE ファイルが同一で、プログラム再生登録が異なるカードデータの作成	前回のカードデータをファイル読み込みで読み込みます。 WAVE ファイルの移動、削除、追加します。 カードデータ作成画面で、ファイル名、フォルダ名を変更して新規にカードデータを作成します。
	WAVE ファイルを数多く登録して、再生するカードデータを作成	例えば、スマートメディアに収納できれば、255の WAVE ファイルを登録しておいて、プログラム再生登録で、再生内容を変更していくこともできます。 予備の WAVE ファイルも登録しておけます。

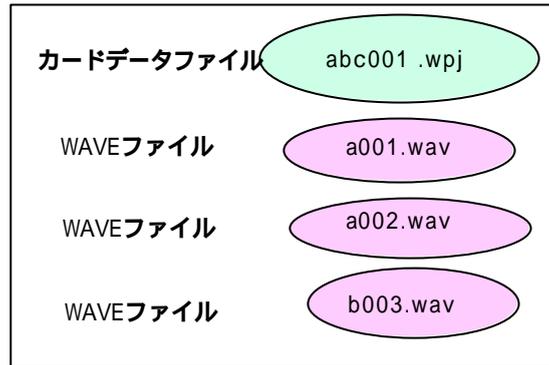
15. カードデータ作成



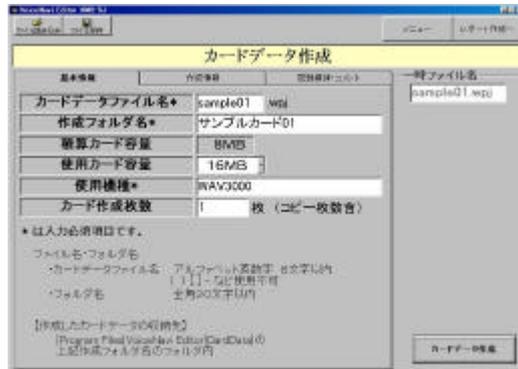
下記のカードデータ作成画面に所定事項を入力し、カードデータ作成ボタンを押し、カードデータを作成します。

作成したカードデータ内容並びに保存先	Program Files VoiceNavi Editor 4J CardData 入力フォルダ名 内にカードデータファイル .wpj を作成と複数の WAVE ファイル 収納フォルダから WAVE ファイル登録画面で登録した WAVE ファイル .wav を複写します。
---------------------------	---

【作成したカードデータの場所】
| Program | VoiceNavi Editor | CardData | カード名称 |



基本情報画面



カードデータファイル名

ファイル名	8.3 形式 英数字
-------	---------------

(注)-() [] 等不可

作成フォルダ名

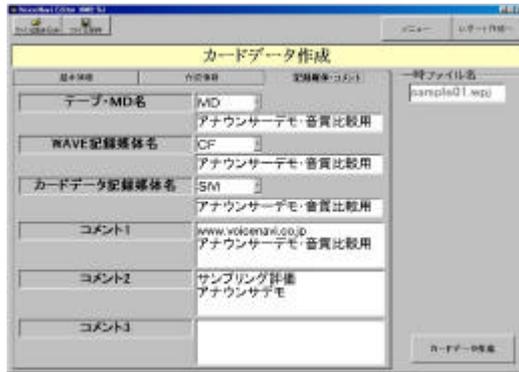
フォルダ名	全角 14 文字まで
-------	------------

作成情報画面



* 欄は「必須入力項目」です。

記録媒体・コメント画面



ご注意



デジタルカメラのフォーマットではご使用できません

ご注意
(再確認)



デジタルカメラのフォーマットではご使用できません

カードデータ作成場所



このフォルダ内からカードデータ wpj ファイルと WAVE ファイル wav を Flash カードにコピーします。

新規作成	WAVE ファイル登録 (またはプログラム再生登録) 後、本画面でカード作成情報の項目を入力します。
カードデータ作成	「カード作成ボタン」をクリックします。 フォルダー CARDDATA\カード名称の中にカードデータファイル.wpj を作成し、使用する WAVE ファイルを設定フォルダーから複製します。 カード名称のフォルダー内にはカードデータファイル.wpj と使用する WAVE ファイル .wav ができます。 作成後、下記の注意事項が表示されます。
ファイル読み込み	前に作成したカードデータファイル.wpj または一時保存ファイル.wpg を読み込みます。
ファイル保存	ファイル保存すると一時ファイル .wpg として保存できます。 カードデータ作成しますと一時ファイル .wpg は自動削除されます。

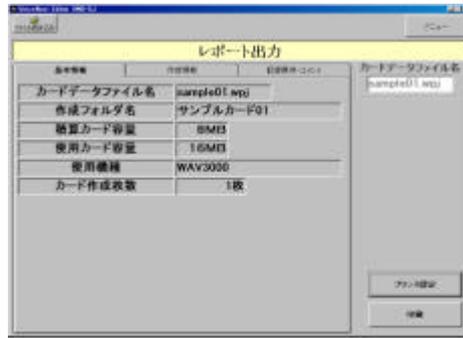
16. レポート作成

本ソフトで作成したカードデータファイル&WAVE ファイル情報を一括印刷できます。

印刷文書	1. カードデータ作成情報	カードデータ作成画面の入力情報
	2. WAVE ファイル登録情報	WAVE ファイル登録画面の情報
	3. アドレス・プログラム再生登録情報	アドレス・プログラム再生登録画面の情報

現行ファイルの印刷

既存ファイル読み込み印刷

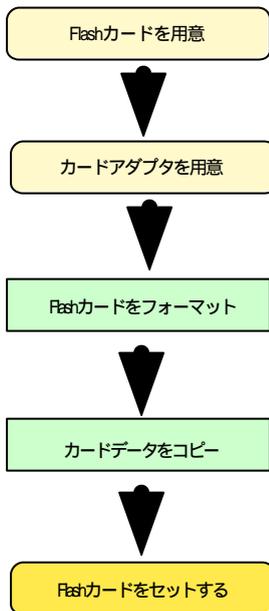


カードデータ作成後、本画面の印刷ボタンで印刷できます。

カードデータファイル.wpj と WAVE ファイルの収納されているフォルダまたは Flash カードを指定し、カードデータファイル.wpj をファイル読み込みします。印刷ボタンで印刷できます。

(注)
登録した WAVE ファイルがないとエラーになります。

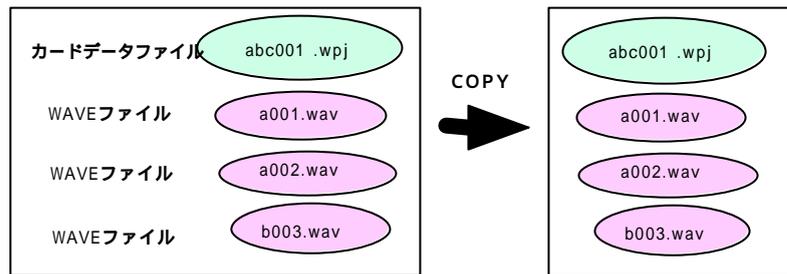
17. カードデータを Flash カードへコピー



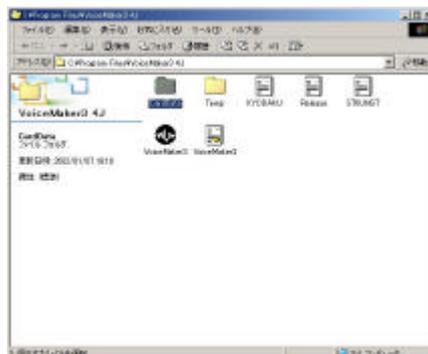
カードアダプタを使用して、| Program files | VoiceNavi Editor VM-5J | CardData | カード名称 | 内の下記ファイルを Flash カードにコピーします。

コピーするファイル	カードデータファイル .wpj WAVE ファイル .wav
-----------	-----------------------------------

作成したカードデータの場所 | Program|VoiceNavi Editor|CardData |カード名称 |



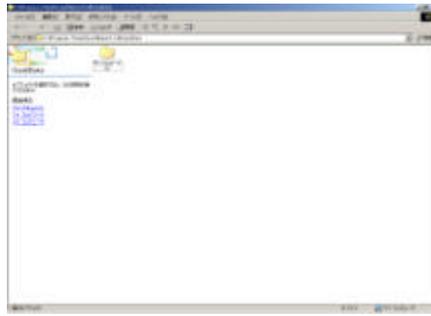
カードデータファイル.wpj と WAVE ファイル .wav



Program Files| VoiceNavi Editor VM3-5J |内の Card Data フォルダを開きます。

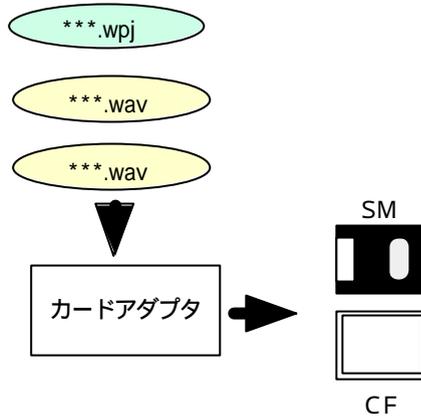
【テクニック】

Card Data のショットカットを作成し、マイドキュメント内かデスクトップ上に配置しておくことで操作がやり易くなります。



VoiceNavi Editor VM-5J CardData 内の作成したフォルダを開きます。

Flash カードへコピー



カードデータファイル wpj とwav ファイルをカードアダプタを使用して、Flash カードにコピーします。

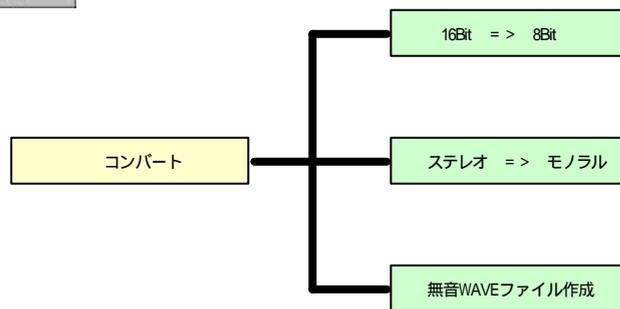
(注)
Flash カードは事前にフォーマットして下さい。

WAV WRX シリーズに Flash カードをセットしてご使用下さい。

18. コンバート機能

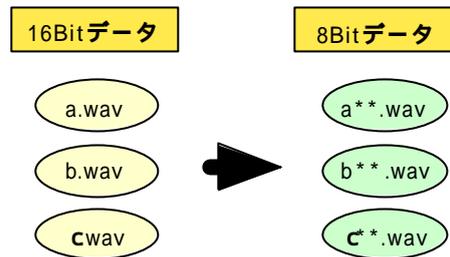
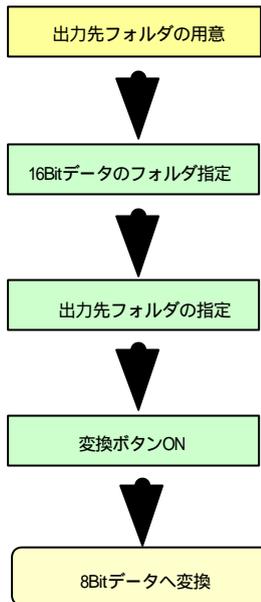


16Bit データを 8Bit データに、ステレオデータをモノラルデータにフォルダ単位、ファイル単位でコンバートできます。また無音の WAVE ファイルを 1 ~ 59 秒、1 ~ 5 分の時間指定で作成できます。



19.コバート WAVE ファイル 16Bit データ => 8Bit データ

WAVE ファイル 16Bit データをフォルダまたはファイル単位で 8Bit データにファイルコンバートできます。



【コンバートのファイル名】

コンバート前	コンバート後
*****.wav	****_001.wav

(注) ****の部分がある場合、_001 ~ 附番

16Bit>>8Bit

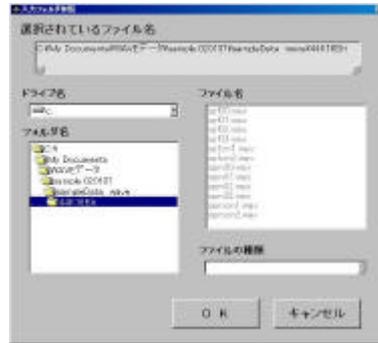


メニュー画面より「コンバート」を選択し、コンバート画面にします。

【事前に】

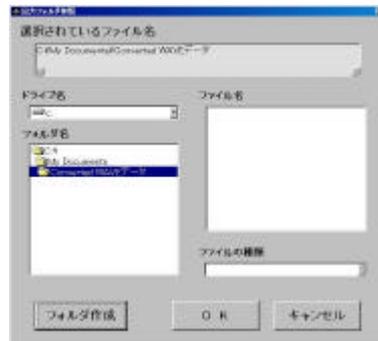
管理を簡単にするため、コンバートする WAVE ファイルをフォルダに収納して下さい。

(例)コンバート前の WAVE フォルダ



またコンバート後の WAVE ファイルを収納するためにフォルダを準備して下さい。

(例)コンバート後の WAVE フォルダ



参照ボタンを押し、コンバートするフォルダまたはファイルを設定します。

コンバートした WAVE ファイルを収納するフォルダを設定します。



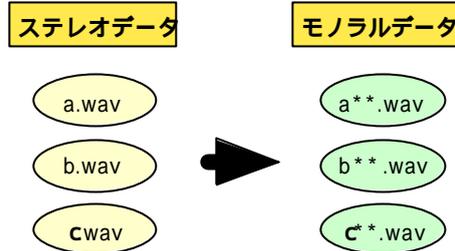
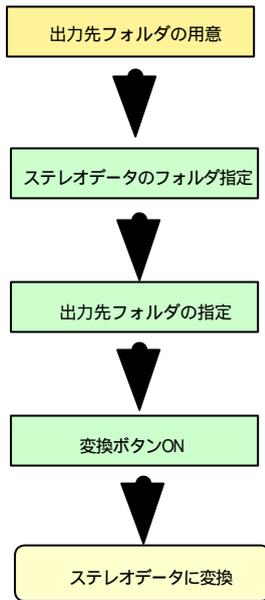
変換ボタン ON でコンバート(変換)します。



出力先フォルダにコンバートした WAVE ファイルを作成します。

20. コンバート ステレオ=>モノラル

WAVE ファイル ステレオデータをフォルダまたはファイル単位でモノラルデータにファイルコンバートできます。



【コンバートのファイル名】

コンバート前	コンバート後
*****.wav	****_001.wav

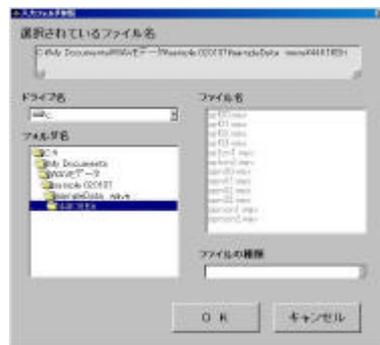
(注)****の部分が一の場合、_001~附番

メニュー画面より「コンバート」を選択し、コンバート画面にします。



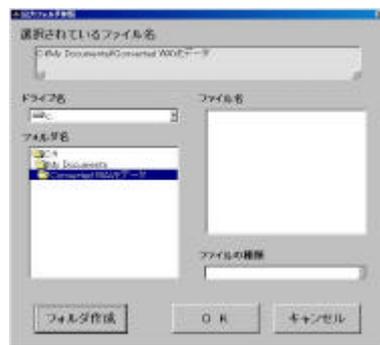
【事前に】
管理を簡単にするため、コンバートする WAVE ファイルをフォルダに収納して下さい。

(例)コンバート前の WAVE フォルダ



またコンバート後の WAVE ファイルを収納するためにフォルダを準備して下さい。

(例)コンバート後の WAVE フォルダ



参照ボタンを押し、コンバートするフォルダまたはファイルを設定します。

コンバートした WAVE ファイルを収納するフォルダを設定します。

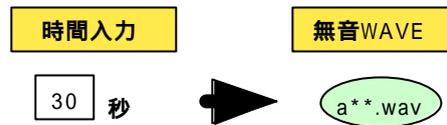
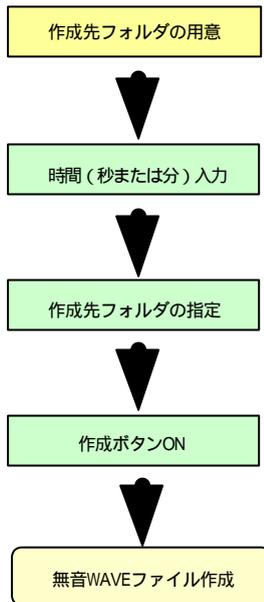
変換ボタン ON でコンバート(変換)します。



出力先フォルダにコンバートした WAVE ファイルを作成します。

21. エンバート無音データの作成

1～59 秒または1～5 分までの無音の WAVE ファイルを作成できます。



【サンプリングモード】44.1KHz 8Bit Mono

【作成時間と WAVE ファイル名】

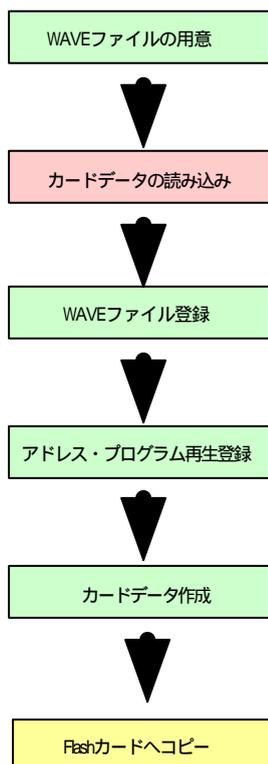
	作成時間	出力する WAVE ファイル名
秒の場合	1～59 秒	zmuon001.wav～zmuon059.wav
Kara	1～5分	zmuon01m.wav～zmuon05m.wav



「MAKE Silent WAVE File」を選択します。参照ボタンを押し、作成した無音の WAVE ファイルの出力先のフォルダを設定します。

秒単位または分単位を選択し、時間を入力します。

22. メッセージの追加・変更



VoiceNavi Editor 上で手軽にメッセージの追加・変更ができます。

追加または変更する WAVE ファイルをフォルダに用意します。

Flash カード内のデータはハードディスクのフォルダにコピーします。

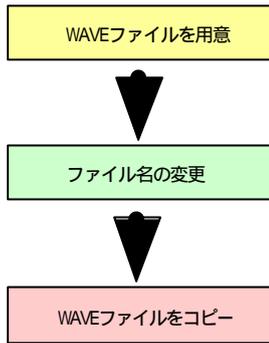
カードデータを WAVE ファイル登録画面のファイル読み込みで読み込みます。

WAVE ファイル登録画面で追加・変更する WAVE ファイルを追加登録します。

アドレス・プログラム登録画面上で、アドレス、プログラム内容を変更します。

カードデータ作成画面で、カード名称、カードファイル名を入力し、カードデータを作成します。(同一ファイル名を使用しても良いが、上書きします)

23. メッセージだけの変更



原則として、メッセージの追加・変更に準じて行います。

なお、メッセージだけの変更の場合、本ソフトがなくてもできます。

WAV/WRX シリーズで使用するFlash カードのフォーマットは DOS フォーマットですので、同一ファイル名の WAVE ファイルを用意して、Flash カードにコピーすれば上書きします。

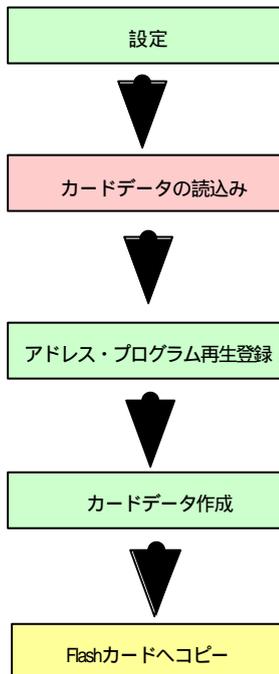
【注意】

WAVE ファイルの上書きの場合、WAV/WRX シリーズ上で再生できない WAVE ファイルである可能性も有ります。

必ず、WAVE ファイル内容を確認してから、コピーして下さい。

なお、登録エディタ VoiceNavi Editor でカードデータを読み込みますと内容が一致しません。

24. アドレスの変更・プログラム登録の変更



VoiceNavi Editor 上で手軽にアドレス変更やプログラム登録の変更ができます。

Flash カード内のデータはハードディスクのフォルダにコピーします。

カードデータをアドレス・プログラム登録画面のファイル読み込みで読み込みます。

画面上で、アドレス、プログラム内容を変更できます。

カードデータ作成画面で、カード名称、カードファイル名を入力し、カードデータを作成します。(同一ファイル名を使用しても良いが、上書きします)

プログラム登録	組立再生	1 アドレス(接点端子)-8WAVEmax.
	リピート回数	1 アドレス(接点端子)-5回 max.

(注)リピート回数設定は、上記組立再生が有る場合、全体をリピートします

VoiceNavi 三共電子株式会社

〒381-3203 長野県上水内郡中条村中条 38

TEL 026-268-3950 FAX 026-268-3105

E-mail: info@voicenavi.co.jp

URL: http://www.voicenavi.co.jp